

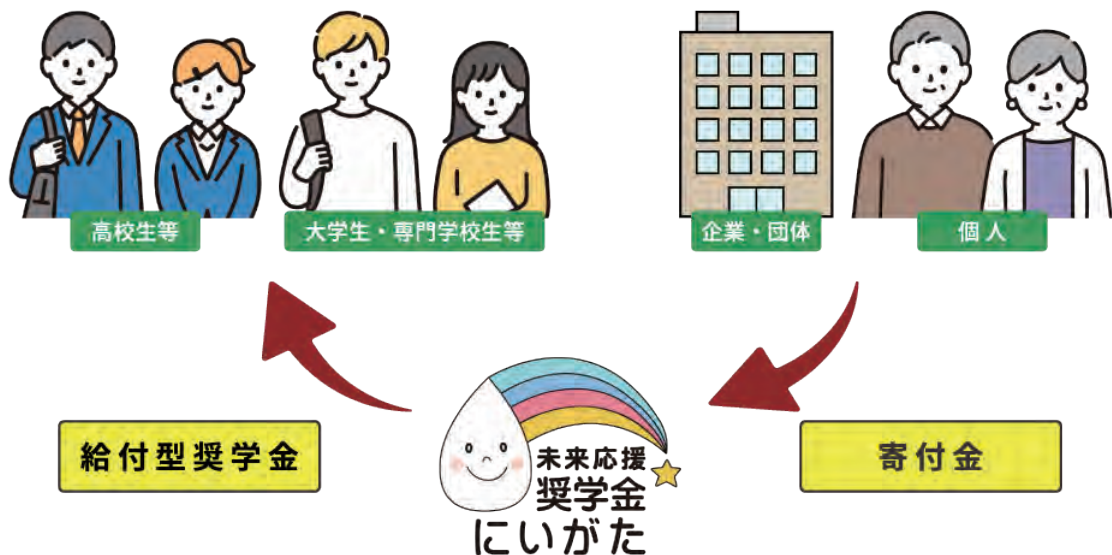


令和 6 年度

成果報告書

一般財団法人
未来応援奨学金にいがた

令和 7 年 5 月



新潟県には、
経済的な事情から進学をあきらめる子、
進学してもアルバイトに明け暮れ学校に行けない子、
県外に進学したが家賃などの負担が大きく満足な食事もとれない子
そして経済的な事情から同級生と同じ学びの機会を得られない子
そんな子どもたちが多くいます。

また、懸命に働いても収入が少なく、貯蓄もできない。
進学のための費用を用意することなどもちろんできない、
そんな家庭が沢山あります。

このように経済的な理由から学びたくても学べない、
将来に夢を持てない子どもたちをなんとかして助けたい。
教育格差を解消し、貧困世帯の子どもたちに希望を持って欲しい。

そして日本の将来を担う人材を一人でも多く育成したい。
そんな思いから返済義務のない奨学金を立ち上げ、
ご支援くださる皆さまのお力で運営を続けられています。

感謝の気持ちを込めて、令和6年度の活動を
ここにご報告させていただきます。

皆様からのご寄付で運営する奨学金です。
いただいた寄付金は全額※学生に支給します。
返済不要の《給付型奨学金》です。

支援を必要としている新潟県の学生を 1 人でも多く、何としても助けたい。
当財団の事業を通し、「故郷が新潟県でよかった」と、
学生たちが心から思えるような地域を皆さまと共に作れたらと願っています。
どうか、皆さまからの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

対象者・・・・・・・・・・・・・・・・

新潟県出身の方で、
家庭の経済的理由から学費の支払いが困難な方、
母子世帯・生活保護世帯・児童養護施設の学生など。

支給額・・・・・・・・・・・・・・・・

高校生には
毎月 5,000 円 (年間 60,000 円)

大学・専門学校生には
毎月 30,000 円 (年間 360,000 円)

卒業まで支給します。

審査基準・・・・・・・・・・・・・・・・

「貧困状況」と「本人の勉強に対する姿勢」で、
学校での成績は問いません。
当財団所定の申請書を提出していただき、
受付後、選考を経てから給付となります。

コロナ禍をきっかけに設立、初年度は 100 人に支給

コロナ禍でアルバイトなどが続けられなくなり、学業の継続が難しくなった学生たちを助けるために設立された未来応援奨学金にいがた。

初年度は 420 人からの応募があり、合計 100 名の学生に奨学金を支給することができました。

コロナ禍がきっかけの設立ではありませんが、社会が平常に戻った今も、経済的に困窮し進学をためらう学生たちは依然として多いままです。



返済不要の奨学金！
奨学生募集！
2023年 3月13日～ お申込み開始！

母子世帯や生活保護世帯で、経済的に学費の支払いが困難な方のために…

特 徴	完全給付型の奨学金で、返済不要です。
支 給 対 象	① 高校生等（中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部、高等専門学校）～3年次等） ② 大学生等（大学生、大学院生、短期大学生、専門学校生等） 新潟県内に在住の学生、または新潟県出身で県外在住の学生。 母子世帯や生活保護世帯で、家庭の経済的な理由から学費の支払いが困難な方。
給 付 額	月額 5,000円 / 月額 30,000円 （① 高校生等） （② 大学生等）
お申込み方法	ネット申請（書類郵送申請も可） ホームページをご覧ください。お申込みにお慮ください。
お申込み期間	令和5年 3月13日～4月13日

一般財団法人 未来応援奨学金にいがた
〒950-0914 新潟県新潟市中央区紫竹山5-7-23
TEL 025-250-0889 (FAX 025-250-0774)
HP: <https://shizuku-ni.or.jp> MAIL: info@shizuku-ni.or.jp

令和 6 年度の奨学金給付額は 3,024 万円

令和 6 年度は高校生 80 名、大学・専門学校生 120 名の計 200 名から応募があり、新規に高校生 30 名、大学・専門学校生 40 名に支給を決定しました。継続支給の学生を含め、合計で大学・専門学校生 72 名、高校生 101 名に給付をおこない、給付金の合計金額は 3,024 万円となっています。

皆さまからの温かいご支援のおかげで、継続中の学生への給付を途切れさせることなく、また新規の採用もおこなうことができました。しかしまだまだこの奨学金を必要としている学生は多く存在します。1 人でも多くの学生へ給付するため、今後もより懸命に募金活動を続けていきます。



クラウドファンディングで目標達成

2024年9月14日から10月31日までの期間で3回目のクラウドファンディングに挑戦し、目標金額の300万円を超えて総額402万8,000円ものご支援をいただくことができました。

186名のご支援くださった方、クラウドファンディングの周知にご協力いただいた皆さま、そして応援してくださった皆さまに心より感謝申し上げます。

クラウドファンディングは全国に広く支援者の輪を広げられるシステムです。目標達成までの道のりは毎年厳しく、多くの方にご協力をいただきながらの挑戦になっていますが、その効果は大きいものと考えています。いただいたご支援は、システム利用手数料をのぞく全額が奨学金として使われています。



120 人の学生に食糧支援を実施

昨今の急激な物価高や米の価格高騰により、学生たちの状況はますます厳しいものとなっています。奨学金の応募の中には、もう食費しか削れるものがなく満足に食事をとることができていないという切実な訴えもあるほどなのです。

そんな中一人でも多くの学生を支援するため、奨学金給付の対象とならなかった学生を含む、県内の希望する学生たちに宅配で食糧を送る活動を続けています。「フードバンクしばた」や「フードバンクつばめ」、「新潟県フードバンク連絡協議会」と連携している、私たちならではの活動です。

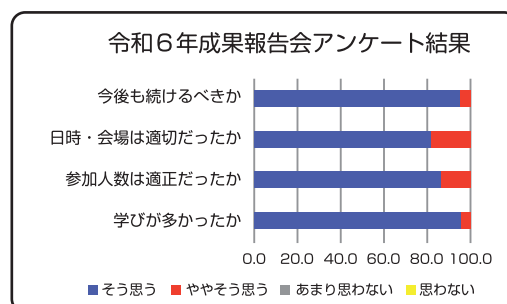
令和6年度は120人(世帯)の学生たちに米やレトルト食品、乾物、日持ちする野菜などを届けることができました。

第2回奨学金成果報告会を開催

2024年9月14日、新潟ユニゾンプラザにて第2回となる奨学金成果報告会を開催しました。34名の奨学生が参加し、6名の奨学生による成果発表のほか、支援者の方を交えたグループディスカッションもおこなわれました。また県外など遠方に住む学生と高校生には作文の提出をしてもらい、冊子として支援者の皆さまへ配布しました。

成果報告会終了後のアンケートでは、8割以上の参加者の方から「今後も続けるべき」「学びが多かった」等の評価をいただき、奨学生の皆さんからも「奨学金を受け取ることのありがたさを改めて感じる事ができた」等の言葉をいただいています。

そして第1回の成果報告会同様、沢山のメディアの皆さまに取材をしていただき、活動の周知に繋げることができました。



誰もいない部屋に一人であるより、大勢の中に一人であることの方が、同じ一人でも辛いと感じる人が多いと思います。

今回成果報告会で奨学金を受ける学生の声を聞きながら、多くの友人に囲まれながら言うに言えない悩みを抱え、孤独感の中で生活していたことを知りました。辛かったろうな、苦しかったろうなと思います。

この奨学金が生活、学業の支援に留まらず、ほんの少しでも心の支援に繋がっているように感じました。

選考委員長 五十嵐一浩より

教育相談の件数が 1,000 件を突破

さまざまな環境の中で傷つき苦しんでいる子ども達を支援するため、令和5年度に発足した「JOIN にいがた子ども相談センター」。令和6年度の相談件数は1,000件を超え、多くの方に頼っていただける組織となっています。そうする中で子どもだけでなく大人の方に関する相談も増えてきたことや、活動が周知されるにつれ同じ名称の他組織と混同される機会が増えてきたことから、名称を変更することとなりました。

新しい名称は「ANCHOR（アンカー）にいがた相談ネットワーク」です。アンカーとは船舶を固定する錨のことで、“頼みの綱”という意味を持ちます。相談することで心の休息を取って欲しい、できれば頼みの綱の役割を担いたい、そんな想いを込めてつけた名です。

現在、相談に対応するスタッフは47名で、全員がボランティアで活動しています。現役の教員や元教員、公認心理士や臨床心理士、カウンセラー、精神科医、そして仏教寺院住職や税理士などさまざまな分野の専門家がスタッフとして揃っているのも、この相談センターの大きな特徴です。



〈令和6年度相談実績〉

令和6年度 ANCHOR にいがた相談ネットワーク 相談記録

地 区	相談件数	相談対象			相談方法			
		児童・生徒	保護者	その他	対面	SNS	電話	その他
県 央	56	23	33	0	29	8	19	0
長 岡	113	0	102	11	3	16	5	89
柏 崎	439	91	19	229	295	124	20	0
糸魚川	246	43	75	171	231	4	11	0
新 潟	47	0	47	0	32	15	0	0
五 泉	173	44	129	0	151	21	1	0
合 計	1074	201	505	411	741	188	56	89
前年比	122%	66%	219%	120%				

令和5年度 ANCHOR にいがた相談ネットワーク 相談記録

合 計	879	306	231	342	683	111	53	32
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----

奨学生たちの声を受け、一般社団法人スリーエスを発足

未来応援奨学金にいがたは、経済的に困難な状況の中進学することを選んだ学生たちが少しでも勉学に打ち込むことができるよう、皆さまからのご寄付を奨学金として給付しています。しかし昨今の物価高もあり、経済的な理由から退学を選ぶ学生もいるのが現状です。そこで、学生たちが短時間で収入を得ることができる仕組みを作るため「一般社団法人スリーエス」を設立しました。スリーエスは、法人や個人の皆さまから仕事を請け、業務委託として学生の方へ発注を行います。また利益の一部は未来応援奨学金にいがたの奨学金に使われます。

尚、皆さまからのご寄付につきましてはこれまで通り全額を奨学金として給付し、スリーエス等の他事業に流用することはありません。

業務委託スタッフ 大募集

シングルマザーさん・大学生さん歓迎！
あなたの「今」にフィットする働き方、はじめませんか？

生活支援事業
暮らしのお困りごと
家事代行
ハウスクリーニング
ペットの散歩など

おまわりサポート事業
墓清掃代行
過去帳デジタル化
墓地図作成
お寺の掃除など

デジタルサポート事業
SNS運用
ホームページ作成
動画編集
リサーチなど

あなたの「できる」が、だれかの「助かる」につながります。
わたしたちは、柔軟な働き方で頑張るシンママ・学生を応援します！
登録だけでもOK！「今は忙しいけど、タイミングが合えば働きたい」という方も大歓迎です！

ポイント

- ・「自分のペースで働きたい」そんなあなたにぴったり
- ・子育てや学業と両立できる
- ・自宅でお仕事も
- ・スキルや経験を活かして、しっかり報酬も

応募条件

- ・シングルマザー及び大学生(専門学生)
- ・丁寧なお仕事ができる方
- ・やる気があれば未経験でも歓迎！

登録の流れ

1. まずはLINE公式アカウントと友達登録！
(QRコードをスマホで読み取り)
2. 簡単なプロフィールを記入して送信
3. 資格や得意分野、経験からあなたにマッチするお仕事を紹介！

登録は簡単2ステップ！

LINE公式アカウント
<https://lin.me/3-04n004>

募集申し込みフォーム
学生用
社会人用

〒950-0914 新潟市中央区紫竹山五丁目7番23号
TEL: 025-288-1663 FAX: 025-288-1664
E-mail: info@3-s.or.jp URL: <https://3-s.or.jp>

**シングルマザー・学生に
自由な時間に仕事をしてもらうことで応援する
「一般社団法人スリーエス」を立ち上げました**

「シングルマザー&学生就業支援プロジェクト」

一般社団法人スリーエスは、「フードバンクしばた」そして返済不要の給付型奨学金「(-財) 未来応援奨学金にいがた」を運営する中で生まれた団体です。
私たちはこの2つの事業に関わる中で、働かなくても働くことができないシングルマザーや、経済的な理由で学業を続けることが困難な学生たちに向き合ってきました。その中で突き付けられたのは、シングルマザーは働く意欲はあっても小さな子どもがいるという理由で安定した職に就けない、また奨学金を受けている学生は生活費や学費を捻出するため時給の安いアルバイトに明け暮れて学業に打ち込むことができないという事実です。
この課題を解決するために、人材を必要とする企業や団体、さらに個人とも連携し、シングルマザーや学生が必要としない簡単な仕事を提供する新たな事業を展開します。在宅で可能な業務や、特別生が取り組める仕事をつなげます。また、この取り組みを通じて、シングルマザーや学生自身の成長も促進できることを目指しています。

事業の仕組み

企業・団体・個人

- 社員や契約社員を
採用するほどでもないが
社内で対応しきれない業務
「暮らしの中でちょっと
手助けがほしい」と
いった日常生活の困りごと

**一般社団法人
スリーエス**

シングルマザー / 学生

- 在宅作業や
経験を活かして
柔軟に働ける業務委託
短時間でもしっかり
収入を得ることができる
案件のご案内

**受注・発注
調整
進捗確認**

一般社団法人スリーエスは、シングルマザーや学生が抱える経済的な困難を軽減し、自己成長をサポートすることを目的として設立された団体です。私たちは、「在宅業務」「経験やスキルを活用した仕事やサービス」「生活支援」「スキルアップと自己成長のサポート」の主な事業を通じて、シングルマザーや学生と企業・団体をつなぎ、社会的な貢献を行います。

生活支援事業

- ・暮らしのお困りごと
- ・家事代行
- ・ハウスクリーニング
- ・ペットの散歩など

おまわりサポート事業

- ・墓清掃代行
- ・過去帳デジタル化
- ・墓地図作成など

デジタルサポート事業

- ・SNS運用
- ・ホームページ作成
- ・動画編集
- ・リサーチなど

現役のコンサル、WEBディレクター、ライターなど各分野の専門家を、チームで仕事を進めます。

ご支援くださる皆さまに、感謝を込めて便りをお届けしています

当財団は、ご支援いただいている皆さまに活動状況をお知らせする「便り」を、年に3、4回お届けしております。

利用者の声

成果報告会でおこなわれた奨学生の
発表の一部を抜粋してご紹介します。

実習はお金がないと
できないと言われたが
奨学金のおかげで参加できた

日常に焦りがなくなった

海外研修の旅費にあてさせてもらった

S さん（大阪大学法学部国際公共政策学科 2 年）

私は中学生の頃から国際協力に興味があり、大阪大学の国際公共政策学科を志望していました。しかし、母子家庭で経済的に進学は難しく、特に塾の費用が問題でした。幸い、予備校の特待生制度と奨学金を活用できたことで、大学入試への準備が整いました。

現在は法律や政治経済を学び、特に国際公共政策に関心があります。奨学金のおかげで、六法や教科書を購入し、効率的に学習できています。

M さん（新潟看護医療専門学校）

奨学金を活用して購入したタブレットを手にしたときの喜びは忘れられず、現在は授業や課題に活用して学習効率が大幅に向上しています。将来は看護師資格を取得し、さらに助産師を目指していますが、物価高や増税の影響で、奨学金だけでは学費の負担が大きいと感じています。支援をいただいている皆様に感謝し、期待に応えられるよう努力を続けたいと思います。来年も、その未来も支えてくださっている方々に自慢に思っていただけのような人でありたいと思います。

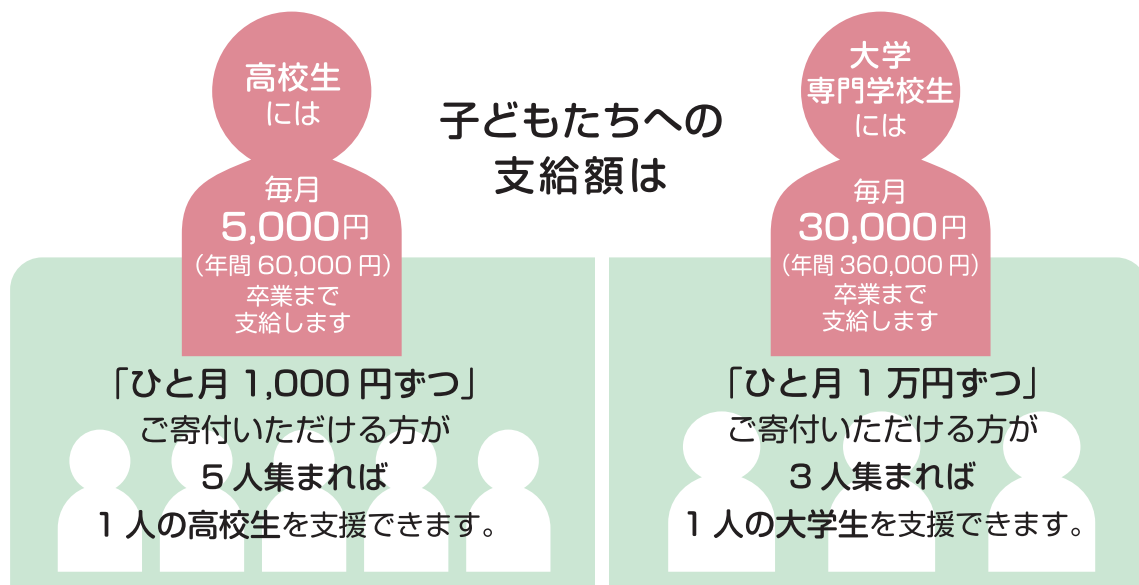
授業以外でお金がかかるのでありがたい

交通費がかかるので
五千円でも助かっている

教材費に使えて助かった

1人でも多くの支援を必要とする新潟県の学生を 何としても救いたいです。

「故郷が新潟県でよかった」学生たちが心から自慢したいと思えるような地域を
当財団の事業をとおり、皆様とともに創り上げたいのです。
どうか、皆様からの温かいご支援をよろしくお願いいたします。



ご寄付・お振込先受付口座のご案内

《口座は2つあります。クレジットカードもご利用いただけます。》

第四北越銀行 南新潟支店

- ・口座番号：普通 5086051
- ・口座名義：一般財団法人
未来応援奨学金にいがた

ゆうちょ銀行

- ・記号：11290
- ・番号：42159731
- ・口座名義：一般財団法人
未来応援奨学金にいがた

クレジットカード



このQRコードから
アクセスしていただき
ますとクレジットカード
で寄付も可能です。

その他、直接のご寄付をご希望、振込用紙が必要な方は、
事務局までご連絡ください。



一般財団法人 未来応援奨学金にいがた

〒950-0914

新潟市中央区紫竹山 5-7-23

電話 025-250-0889

FAX 025-250-0774

奨学金にいがた寄付

ホームページ

<https://shizuku-ni.or.jp/support/>



遺贈について

遺贈とは

遺言によってご自身の財産の一部またはすべてを
特定の個人や団体に遺すことです。

「人生最後の社会貢献」として遺贈による寄付を考える方は多く、
規模の大きい遺贈がニュース等で取り上げられることも増えています。

遺贈の方法

遺贈寄付には、大きくは 3 つの方法があります。

- ① 遺言による寄付
- ② 相続財産の寄付
- ③ 契約による寄付

遺贈寄付の流れ

1. 遺言の意思決定
2. 遺言執行者の決定と遺言書の作成
3. 遺言書の保管期間中
ご逝去後・・・・・・・・・・
4. ご逝去 遺言書の開示と遺言執行
5. ご寄付の活用

当財団への遺贈について

「どのくらいの金額でどんなことができるのか」

「遺言書の種類と記載例」

「遺贈 Q&A」などを

わかりやすくまとめた

パンフレットをご用意しております。

全国送料無料でお届けします、
どうぞお気軽にご請求ください。

送付をご希望の際は

パンフレット送付先の郵便番号、

ご住所、お名前、電話番号を

当財団までお知らせください。



ご賛同とご協力に感謝申し上げます

五十音順・敬称略

特別協賛企業・団体

(株)青芳 (株)アークベルグループ 社会福祉法人いじみの福祉会 (株)石山健商店 移動美容バン (株)イノウエ NPO法人 いるか (株)王紋電気 (株)小野組 カイツ自動車(株) (株)金田塗装工業 菊水酒造(株)	(株)北日本ホーム食品 黒崎白土工業(株) こころ有志 新発田ガス(株) 新発田建設(株) 新発田ヤクルト販売(株) 篠田パートナーズ事務所 佛光山称応院 新善光寺 医療法人すどう小児クリニック 第四北越銀行 託明寺 東邦産業(株)	(株)中村ガラス 新潟県労働金庫 新潟県労福協 (株)新潟クボタ 社会福祉法人のぞみの家福祉会 花安新発田斎場 宗教法人 宝光寺 曹洞宗 宝昌寺 ホープ歯科クリニック ゆりかご有志 和同情報システム(株)
--	---	--

協賛企業・団体

(有)エス・オー・ディ 龍雲山 興泉寺 公孫会三南支部 公孫会新潟支部 公孫会阿賀北支部	佐藤歯科クリニック 曾根建(株) 新潟県高等学校長協会 曹洞宗 福楽寺 (株)伏見清掃	やまざき小児歯科 寶光院 (株)渡辺リネン
--	---	-----------------------------

一般財団法人 未来応援奨学金にいがた

事務所 / 連絡先住所 〒950-0914 新潟市中央区紫竹山 5-7-23

電話 025-250-0889 不在の場合、電話は 070-4281-0430 に転送されます。

折り返しの際は、070-4281-0430 からご連絡します。

FAX 025-250-0774

..... 役 員

評議員 井岡 秋夫 イオカ電子株式会社 代表取締役	理事長 土田 雅穂 フードバンクしばた 副代表	理事 稲葉 浩一 上越市教育委員会 指導主事	理事 齋藤 更紗 元文部科学省職員
評議員 石川 翔太 株式会社イードア 新潟支社長	監事 小野寺眞夫 税理士法人 小野寺税務会計事務所 代表社員	理事 小田 智美 元村上市立朝日中学校長	理事 下村 正人 宮崎二記念館 館長
評議員 広瀬 雄介 株式会社新潟銅糧 代表取締役	監事 森 弘志 元新発田市立東豊小学校長	理事 小柳眞砂子 新潟市母子福祉連合会 会長	理事 中村 健 新潟大学歯学部 准教授
評議員 渡邊 明紀 新発田建設株式会社 代表取締役社長	理事 青柳 修次 株式会社青芳 代表取締役社長 NPO法人フードバンクつばめ理事長	理事 木村 信丈 和同情報システム(株) 代表取締役	理事 鷲尾 達雄 株式会社鷲尾 代表取締役
	理事 五十嵐一浩 長岡工業高等専門学校 非常勤講師	理事 栗山 靖子 株式会社 BBS新潟 代表	
	理事 五十嵐悠介 東邦産業株式会社 代表取締役社長	理事 小林 元 新潟県異業種交流センター 理事長	